

システムコントローラー

主電源ボタン を押します。

この状態でマイクロホンが使用できます。

セレクターボタン

プロジェクターに送出するソースを選択します。

プロジェクター電源ボタンを押します。

プロジェクターの電源が入りスクリーンが自動的に降りてきます。

PDP電源(101教室のみ)

プラズマディスプレイの電源が入ります。

スクリーンボタン

スクリーンのみを利用するときに使用します。

通常は操作の必要はありません。

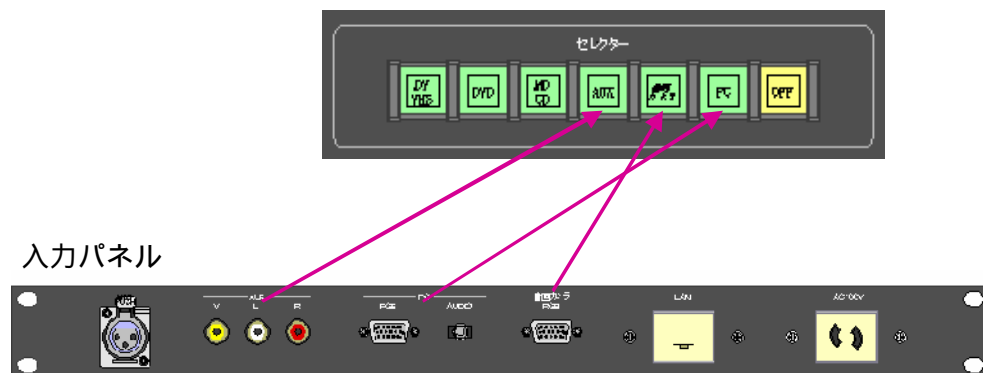
ボリュームつまみ

室内の音量を調整します。AVソースとマイクロホンを個別に操作できます。

注意

本コントローラーとプロジェクターはRS-232Cで通信を行っておりますが、送信コマンド実行中に次のコマンドを送信すると、稀にプロジェクター側でハングアップを起こすことがあります。

その場合は、本機の電源を入れなおして操作してください。



入力パネル

LAN端子は現在使用できません。

VTR、DVD、カメラ等の持込み機器を接続してください。

持込のノートPCや書画カメラを接続してください。

使用後は 主電源ボタンを切にしてください。

システムが自動的に終了します。

一度、プロジェクターの電源を切りますと、クーリングオフ時間が設定されているため、2～5分程度御使用になれませんのでご注意ください。